

総合評価方式における低入札価格調査制度の導入（試行）について

福岡県農林水産部においては、建設工事に係る総合評価方式による入札について、最低制限価格制度に代わるダンピング対策として、下記のとおり低入札価格調査制度を導入（試行）します。

低入札価格調査制度とは

調査基準比較価格及び失格基準比較価格を設定し、調査基準比較価格を下回った価格で入札が行われた場合、契約内容に適合した履行が確保されるか否かを調査し、落札者を決定する制度です。なお、失格基準比較価格に満たない価格で入札が行われた場合は、失格となります。

対象工事

平成31年度より、試行として、農林水産部、県土整備部及び建築都市部が発注する総合評価方式による一般競争入札すべての案件を対象とします。

低入札価格調査

調査基準比較価格を下回った価格で入札を行う場合は、次の事項について調査を行いますので、開札までに低入札価格調査資料作成要領に定める低入札価格調査票を提出していただきます。なお、開札までに提出をしない場合は、入札は無効となります。

調査内容については、福岡県建設工事低入札価格調査試行要領をご確認ください。

また、失格基準等については、入札説明書等でご確認ください。

調査基準価格を下回った価格で契約する場合の条件

- (1) 予定価格が5億円以上の案件：現場に配置する技術者を増員（1名→2名）
- (2) 予定価格が5億円未満の案件：技術者と現場代理人の兼任を認めない。
- (3) 契約保証金の増額（請負金額の1/10→3/10）
- (4) 違約金の増額（請負金額の1/10→3/10）

また、令和3年度より福岡県建設工事低入札価格調査試行要領が改正になっています。改正点は「総合評価方式における低入札価格調査制度の改正について」をご確認ください。

問い合わせ先

福岡県農林水産部農山漁村振興課入札係

TEL（代表）：092-651-1111（内線 3871~3）

TEL（直通）：092-643-3527

FAX：092-643-3507